

調査団体名	名古屋市東山動植物園	団体代表者名	小林弘志
活動地域	名古屋市を中心とした愛知県内	団体URL	http://www.higashiyama.city.nagoya.jp/index_pc.php
<p><活動内容></p> <p>動物園の主な役割は動物の飼育と展示であるが、希少動物の保護や繁殖も動物園の大切な役割の一つである。東山動物園では愛知県内ですでに希少となってしまった生物の調査研究や系統保存に取り組んでいる。これまでに行ってきた主な調査活動として、名古屋市内のメダカ生息調査、東山の森のカスミサンショウウオ個体数調査、瀬戸市蛇ヶ洞川のオオサンショウウオ調査などが挙げられる。特に2000年から調査を開始した瀬戸市蛇ヶ洞川のオオサンショウウオについては、マイクロチップを導入した個体識別によって、現在まで継続的な調査を行っている。また、飼育下においては、愛知県のレッドリストで絶滅危惧 I Aに指定されているウシモツゴの系統保存やカスミサンショウウオの繁殖などにも取り組んでいる。その他、保護活動として、海外から密輸されたリクガメ類やインコ類などの保護、収容も行っている。動物園だからこそできることの一つにたくさんの人に知らせることが可能であるということが挙げられる。このような利点を活かした普及啓発活動も動物園の大切な活動である。2008年には世界的に減少の著しいカエル類の保護をうたった「国際カエル年」のキャンペーンへ参加し、カエル類に関するイベントを開催した。</p>			
<p><連携している団体・専門家・自治体など></p> <p>動物園なので、様々な団体と連携する機会が多い。例えば瀬戸市蛇ヶ洞川のオオサンショウウオについては、瀬戸サンショウウオを愛する会や瀬戸市交流活力部文化課、瀬戸市市民生活部環境課などと連携をとりながら調査活動を行っている。</p>			
<p><今までに行った調査・研究></p> <ul style="list-style-type: none"> ○名古屋市内のメダカ生息調査 ○東山の森のカスミサンショウウオ個体数調査 ○瀬戸市蛇ヶ洞川のオオサンショウウオ調査など 			
<p><現在直面している課題></p> <p>特にフィールドでの調査活動は動物園業務との兼ね合いが難しい。調査対象であるオオサンショウウオなどは夜行性であるため、どうしても調査が夜間になってしまう。これは業務時間とならないため、現在はボランティアとして調査を行っている。今後、業務としてフィールドでの調査が可能になればと考えている。</p>			
<p><今後どんな情報が必要か></p> <p>様々な会議に参加するなどして、情報を集めているので、特に必要とする情報はない。</p>			



瀬戸市、蛇ヶ洞川でのオオサンショウウオ夜間調査



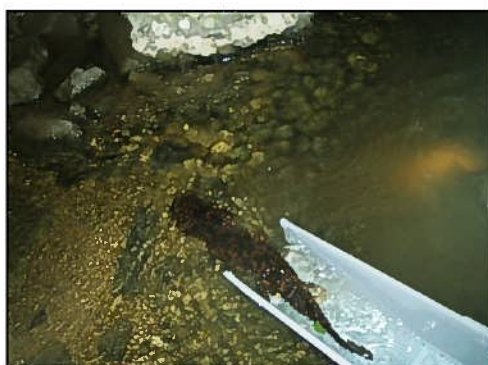
捕獲したオオサンショウウオの体重を量る



オオサンショウウオの外部形態の計測



マイクロチップを挿入し個体識別をする



捕獲場所から放逐する